

池上弘祥 長野県老人クラブ連合会会長 あいさつ

本日、ここ須坂市において、県下各地から大勢の皆さんの御参加をいただき「第 56 回 長野県老人クラブ大会」が開催できましたことに対し、まずもって感謝を申し上げます。

また、ご来賓の皆様には、大変お忙しいところ、ご臨席をいただき、ありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

さて、長野県人口の約 3 割が高齢者となり、人生 90 年時代を迎えた今日、高齢者が、健康で、仲間と支え合いながら地域づくりを進めていくことが強く求められています。こうした活動を、半世紀以上にわたり推進してきたのが、私たち老人クラブの存在であります。

ご案内のとおり、長野県老人クラブ連合会は、全国に先がけて、昭和 35 年に設立されて以来、高齢者の生きがいと健康づくり、住みよい地域づくりを実現するため、「健康、友愛、奉仕」の全国三大運動をはじめ幅広い地域活動に取り組んでまいりました。

長年にわたり先人たちが築いてきた活動は、各地域で多大な成果をあげ、地域に根づいた活動として今日まで受け継がれております。

今後、老人クラブに対する期待は、益々大きくなってきておりますが、私は、こうした高齢者や地域の期待に十分応えていくためには、現在老人クラブが抱えている大きな課題を、まず、解決していかなければならないと思っています。

その大きな課題とは、私たちの仲間である会員数の減少であります。

会員数の推移については、本年 4 月 1 日現在、9 万人余りですが、これはピーク時の 4 割を割っております。

会員の減少は、長野県だけでなく全国老人クラブの共通の課題であり、全国老人クラブ連合会では、会員数を増強するために、昨年度から「全国 100 万人会員増強運動」を実施し、長野県では 5 年間で 2 万人会員増強の運動を進めているところであります。

このため、生きがいづくり、健康づくり、仲間づくり、地域づくりを県下の各連合会で実施しております。それには、老人クラブが、地域のニーズに的確に対応できる組織でなければならないと考えております。

半世紀以上にわたり、先人たちが築いてきた諸々の活動を更に前進させ、新しい時代にふさわしい老人クラブ活動をしていきたいものと思います。

私たち一人ひとりが、老人クラブの活動に自信と誇りを持ち、仲間づくりの輪を広げ、高齢者や地域の期待に応えていきたいものと思います。

本日は、長年にわたり老人クラブの育成・発展にご尽力された皆様の表彰を申し上げ、「私の主張」は、佐久市在住の荻原徳雄さんから「老後をどう生きるか」と題して発表をいただきます。そして、長野市在住の内山二郎さんからは、「人生 90 年時代に期待される高齢者の生き方」と題して講演をいただきます。

どうぞ意義ある日にしていただきたいと思います。

終わりに、本日受賞される皆様方に対し、心からお祝いを申し上げ、今後、更なるご活躍を祈念すると共に、本大会の開催地として、受入れの準備等ご尽力いただきました須坂市シニアクラブ連合会と関係の皆様方に感謝を申し上げ、あいさつといたします。

平成 27 年 10 月 15 日

一般財団法人 長野県老人クラブ連合会
会 長 池 上 弘 祥